

草加市立草加小学校



未来へはばたけ けやきっ子

～夢を育む チーム草加小学校～

草小だより

1月号(No.574)

【学校教育目標】

考える子

思いやりのある子

たくましい子

令和7年1月8日(水)

## 新年を迎えて

校長 谷口 慎一

草加小の子供たちや保護者の皆様、地域の皆様も意事に新たな年を迎えられたことと思います。本年が草加小にかかわるすべての皆様にとりまして、最良の年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。  
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

早いもので、今年も年が改まって8日になります。皆さんにとって今年も、また三学期は、どんな期間になるのでしょうか。「正月」の漢字は、「一」と「止」からできています。この「一」は事始め、順番の始めをあらわしています。また「止」は、止どまる。始めを見直す。元を見直すということであらわしています。つまり「正月」は原点を見直すとともに、心新たなスタートを求めています。この心新たなスタートに、子供たちはどんな目標を立てどのように成長していくのでしょうか。期待して止みません。

今年も1月1日に初詣に行きました。草加小の子供たちをはじめ草加小にかかわるすべての皆様が、健康かつ安全で、素晴らしい一年となるよう祈願してきました。年の始め故に、新たな出発にふさわしい目標を定め、一日一日を有意義に過ごしたくましく未来を切り拓く草加小の子供たちに育ててほしいと願っています。

ところで、みなさんは大リーグで活躍するエンゼルス投手 菊池雄星 選手をご存じですか？彼は、インタビューの中で、メジャーリーガーになれたのは才能があったからではないのかとの問いに「決して才能に恵まれているとは思っていないが、『やり続けること』には自信があります」と、努力を継続することの大切さについて答えています。そして、才能の不足は「習慣形成」を通じて補うことができること、目標設定は「夢や目標は届きそうになったら高く更新を」することにより、自分の持つ可能性を信じ、伸ばすことにつながると述べています。

このことは、プロ野球選手だけでなく、子供たちにも同じことが言えるのではないのでしょうか。子供たち一人一人の能力や特性は違います。しかし、目標を明確に持ち、努力を継続できれば、自己の力を最大限に高め、自分の持つ可能性を伸ばすことができるのではないのでしょうか。

先ほどの菊池選手は「いい環境は、いい人に囲まれること。誰と出会うか、誰と話すかで、人生は全く変わる」とも述べています。私たち大人は、夢に向かって努力する子供たちのよき支援者でありたいと願います。

目指す学校像「未来へはばたけ けやきっ子～夢を育む チーム草加小学校～」の実現に向け、今年も職員一同精一杯頑張っ参ります。皆様方の理解あるご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。